

DOYU

あおり

2019 Dec

12

vol.224

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F
TEL017(752)0171 FAX017(752)0170 URL/http://www.aomori.doyu.jp E-mail/info@aomori.doyu.jp

☆☆☆☆

青森支部例会

地域を知る！見る！楽しさ発見！



◆報告者
(有)小田桐石材
代表取締役
小田桐 隆夫 氏(むつ市)

2019/10/23 参加 33名

☆☆☆☆

下北支部例会

自己改革に挑んだ半年間
～共に創る、実践の積み重ねの楽しさ！～



◆報告者
SEVEN HORSE
代表
鹿内 史芳 氏(青森市)

2019/10/24 参加 18名

★ 参加感想文 ☆☆☆

「人と地域の結束」

ご報告を聞き、下北をジオパークに認定させ、発展させるために役所だけでなく住民が地域の事を理解し、業種に関わらず地域住民が結束して良くしようと取り組んでいる姿に感動しました。また海岸で拾ったゴミを利用し海を表現した展示を公開するなど地域の現状発信が大切だと感じました。

ジオパークに認定されるためには審査を受け、与えられる課題を地域全体でクリアする必要があるそうです。会社も良い経営をするために短所をなくし長所を生かすことが必要であるため、自社でも社員との結束力を生かし課題をクリアしていきたいです。

最後に、地域を知り地域全体で活動することが、思いを実現させる大きなパワーであることを学びました。また個人での草刈りが地域全体での活動になったというグループ内でのお話も聞き、これからは自発的に考えて地域を勉強し貢献に繋がるボランティアを見つけていきたいと思いました。

記／(株)大坂組 専務取締役 大坂将史

★ 参加感想文 ☆☆☆

今回、下北支部例会に初めて参加させていただき、SEVEN HORSEの鹿内史芳氏より興味深いお話をお聞きすることができました。

電気工事士、ダンプの運転手などの職歴を経て、お父様の病気をきっかけに突然の事業継承。その後、廃業を余儀なくされるなど大変ご苦労をされたことや、新規事業へのきっかけ、そして現在は経営者として良い会社、良い経営環境を作るために日々、奮闘しているという内容でした。

そのようなお話の中で感じた事は、社員さんの考えや意見に耳を傾け、お店作りをしており、社員さんとのコミュニケーションが取れている所。また、5年後、10年後のビジョンを描き、目標達成に向けて社員さんと共に取り組んでいる所でした。この報告をきっかけに自社も実践していきたいと改めて感じました。

記／(株)島守ダクト 取締役 島守明美



【参加感想文】 鈴木建設工業(株)

代表取締役会長 小笠原 貞子

第6分科会(見学)に参加して、(株)ピアライフの社長さんは利益の追求でダメになっていく中、社風を変えたいと考え同友会で同友会理念を学び、「国民や地域と共に歩む中小企業」から人を生かす経営の源泉が障害者雇用の中にあると気づいたそうです。今では障害者だけでなく無就業者の雇用と仕事づくりを手掛けています。

2部での報告者は聴覚障害者で入社4年目の女性社員さんでした。生い立ちは2歳の時、先天性の難聴と診断を受けて補聴器をつけ小中高、大学を卒業。就職活動していたが地元で働きたいとの思いで、ハローワークにて(株)ピアライフを見つけたが、ホームページから接客の多いイメージを持ち、自分には無縁じゃないかと考えたそうです。しかし社長からの「耳が聞こえないこと以外は配慮しない」「出来る事は何でもやってもらおうし、君にはできる」と言われ、聴覚障害のある自分だからこそ出来る事が有るのではないかと気づかされて入社。その後仕事をして感じるのは、健常者と障害者の繋がりそれぞれが悩みを抱えているが、互いにその悩みを受け止め、活動や交流を通じて、「共に生きる」という意思を持つ人々が集まる社会環境が必要ではないかとの話でした。

私は報告者の社員さんが難聴なのに一生懸命自分の思いの報告を自分の口で話した事と、社長さんが社員さんに「君にはできる」と言葉を発した事に「幸せの見える共生社会」と言う事を実感しました。

社長さんは近い内、刑務所から出所する人も迎える予定と話しました。信じて任せる事の出来る社長の度量がすごいと感じました。

滋賀県での大会は38年前に第1回の障害者問題全国交流会が開催され今回の第20回を又滋賀県での開催でした。同友会は40年前に経済界が障害者を雇用の対象とみていない時代に、既に人間尊重を標榜していたことが第1回の開催に繋がったそうです。滋賀県は福祉先進地という事が分かりました。



障がい者雇用の促進に向けた 支援施設見学会

◆◆ 就労サポートセンターさつき ◆◆

共に生きる障がい者問題委員会・共同求人活動運営委員会

2019/11/7 参加者 17名

【参加感想文】

今回就労サポートセンターさつきにて、障がい者雇用についてのお話と、生産活動支援の様子を見学させていただきました。

就労支援の他に生産活動支援として、空き缶の分別や水稲作業、漁網等の加工を行っているとの事でした。その中で漁網加工の様子を見学しましたが、私が思っていた単純な作業ではなく、手順が多く難しい作業もしていて驚きました。障がい者雇用のお話の中でもありましたが、仕事の指示をする時にやり方はもちろんですが基準を設ける事がすごく大事で、その基準を明確にする事で、仕事の出来る幅がかなり広がるという事です。また、中には車の免許を持っており自家用車で通うことが出来る方もいるそうです。

全体を振り返って感じた事は、障がい者雇用に関して、私の知識と理解がかなり不足していたということです。

人材不足と言われている時代ですが、障がい者雇用を取り入れる事で人材不足を解消できる企業は沢山あると感じましたので、次の機会にはもっと多くの企業に参加してほしいと思いました。

記/(株)マルヤマ 代表取締役 大和英樹

11月理事会報告

於：事務局 2019.11.6(水)

1) 報告事項

●青森同友会の各種事業と全国行事について

- ①第18回経営研究集会
- ②北海道同友会創立50周年記念式典
- ③ネクストリーダー「1日研修会」
- ④女性部会全県及び青森・上十三両支部11月例会
- ⑤2020新春例会 in 青森

●10月入退会報告

2) 審議事項

- 2020新春例会 in 青森について
- 全県を挙げての会員増強について
- 各支部、委員会からの報告

会員数 393名/入会8 退会1社

【次回開催日】2019年12月3日(火)14:00~/事務局会議室